

すばらしい土木技術をもういちど

第79回 EVENING THEATER

2014年6月18日(水) 18:00 開場 18:30 開演 参加無料
土木学会 講堂 (JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分)

都市型水害と土木

忘れない、東海豪雨

未来につなげる地下の川
—首都圏外郭放水路—

神田川・環状7号線地下調節池工事記録
水害から都民の生命と暮らしを守るために

解説：東京都建設局第三建設事務所 東野寛所長

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラム(2単位)です。

会員証でCPDポイントの自動登録が可能ですのでご参加の際にご持参ください。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当

The 79th
JSCE
EVENING
THEATER

上映作品



平成12年(2000年)9月

忘れない、東海豪雨



社団法人 中部建設協会

忘れない、東海豪雨

土木学会選定映像 土木学会第24回映画コンクール優秀賞

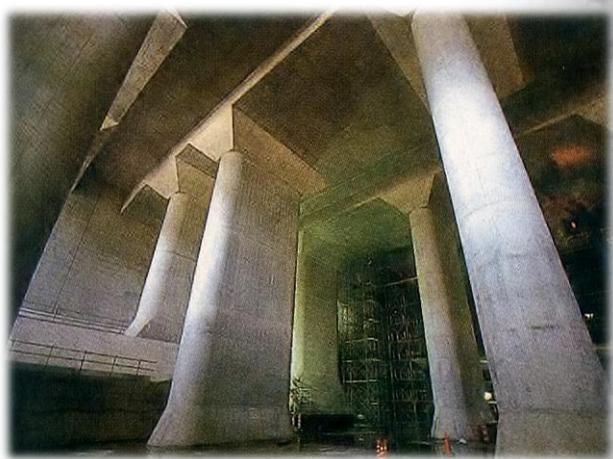
企画：(社)中部建設協会 制作：(株)日映映像 2010年 16分

この作品は、2000年9月11日から12日にかけて東海地方を襲った集中豪雨による大規模都市型水害の被害状況および災害復旧を記録したものです。猛烈な集中豪雨が名古屋市およびその周辺の都市を直撃し、複数箇所での堤防決壊、市内全域に及ぶ深刻な浸水被害など一時は都市機能が完全に麻痺する事態に至りましたが、この作品は、刻一刻と拡大する被害状況を克明に伝えると共に、その後の被災の実態、応急対策、復旧対策などの進捗状況を映し出しています。以後に続く都市型水害のさきがけとなり、この災害を契機に法整備や対策事業の見直しが進められたという面でも注目すべきものですが、防災対策への教訓や災害への備えの重要さを伝えて、特に都市地域住民の方々の防災教育などの機会での活用が期待される作品です。

未来につなげる地下の川—首都圏外郭放水路

土木学会選定 企画：建設省関東地建江戸川工事事務所 制作：岩根研究所 1997年 15分

中川・綾瀬川流域は低平地という地形に加え、昭和30年代以降の都市化に伴い、平成に入ってから慢性的な浸水被害が発生しました。この被害を抜本的に解消するために「首都圏外郭放水路」建設事業が実施されることとなりました。この事業は内径10mの地下放水路を6.3kmにわたって建設するもので、これにより、中川、倉松川など5つの河川の洪水による増水分を、江戸川に流すというものです。この作品では、冒頭にこれまでの浸水被害の状況や原因を述べて当該事業の必要性を示し、この事業によって、どのような解決が図られるのかを、CGなどを取り入れながらわかりやすく紹介しています。また、施設や構造物の建設工事現場の映像を随所に取り入れることで、現場のスケール感がよくわかり、シールドマシンなど先進的な工法の実際の稼働状況なども見て取れます。都市型の災害に対して土木建設事業が果たす役割をコンパクトにまとめた佳作と云えます。



神田川・環状7号線地下調節池工事記録 水害から都民の生命と暮らしを守るために

土木学会選定 企画・制作：東京都建設局第三建設事務所 2008年 17分

神田川・環状7号線地下調節池は、水害が多発する神田川中流域の水害に対する安全度を早期に向上させるため、環状7号線の道路下に延長4.5km、内径12.5mのトンネルを建設し、神田川、善福寺川及び妙正寺川の洪水約54万m³を貯留する調節池です。この調節池は、施設の規模が大きく、全体の完成には相当の時間を必要とするところから、早期に効果を発揮させるため、第一期、第二期に事業を分割し整備を進め、平成20年3月に完成しました。本映像は、その工事を記録したものです。

